

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザの警報レベルが続いています

感染症発生動向調査で、熊本市の第10週(3月6日～3月12日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、前週11.68人 ➡ 今週10.80人(定点数25ヶ所、患者報告数前週292人 ➡ 今週270人)と前週から減少しましたが、例年通りインフルエンザB型の割合が増えてきています。まれにA型に感染後、B型に感染する場合がありますので、引き続き感染予防に努めましょう。

●感染性胃腸炎(ウイルス性胃腸炎)に引き続き注意して下さい

◆ノロウイルス食中毒の予防方法は？

- ノロウイルス食中毒を防ぐためには、
 (1)食品取扱者や調理器具などからの二次汚染を防止する。
 (2)特に子どもやお年寄りなどの抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱することが重要です。



特に、ノロウイルスに感染した人のふん便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されるため、大量調理施設の食品取扱者がノロウイルスに感染していると、大規模な食中毒となる可能性があります。

◆手洗いはどのようにすればいいのですか？

手洗いは、手指に付着しているノロウイルスを減らす最も有効な方法です。調理を行う前(特に飲食業を行っている場合は食事を提供する前も)、食事の前、トイレに行った後、下痢等の患者の汚物処理やオムツ交換等を行った後(手袋をして直接触れないようにしていても)には必ず行いましょう。常に爪を短く切って、指輪等はずし、石けんを十分泡立て、ブラシなどを使用して手指を洗浄します。すすぎは温水による流水で十分に行い、清潔なタオル又はペーパータオルで拭きます。石けん自体にはノロウイルスを直接失活化する効果はありませんが、手の脂肪等の汚れを落とすことにより、ウイルスを手指から剥がれやすくする効果があります。

なお、消毒用エタノールによる手指消毒は、石けんと流水を用いた手洗いの代用にはなりません。すぐに石けんによる手洗いが出来ないような場合、あくまで一般的な感染症対策の観点から手洗いの補助として用いてください。

[※厚生労働省「ノロウイルスに関するQ&A」から引用。詳しくは外部リンクを下のほうに載せています。]

期 間		平成29年 第9週		平成29年 第10週	
		2/27～3/5		3/6～3/12	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		292	11.68	270	10.80
RSウイルス感染症		1	0.06	5	0.31
咽頭結膜熱(プール熱)		6	0.38	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	2.25	42	2.63
感染性胃腸炎		78	4.88	73	4.56
水痘(みずぼうそう)		6	0.38	9	0.56
手足口病		7	0.44	7	0.44
伝染性紅斑(りんご病)		2	0.13	0	0.00
突発性発しん		5	0.31	11	0.69
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		6	0.38	8	0.50
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		9	1.80	9	1.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1	0.20	2	0.40